

No.01

担当課室	市民病院管理課	事業名	市民病院事業費用	事業区分	その他事業
事業概要	急性期医療を提供する市民病院として、尾張西部地域に継続的に安定した医療を提供する。 平成31年度には、電子カルテシステムの更新（平成30年度から継続）に取り組み、また、来客者駐車場整備のため一宮商業高校プール解体工事を行う。				
マニフェスト	7 市民病院を核とした医療体制をさらに充実します				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②	増減(②-①)	③	増減(③-②)
22,334,865千円		22,252,185千円	△82,680千円	22,245,151千円	△7,034千円
KPI	受益者など(見込)	患者数(入院・外来)平成31年度見込:516,900人		対象1人あたり	43,035円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。なお、電子カルテシステムにかかる導入委託料(債務負担行為)については契約金額が確定したため一部減額し、一宮商業高校プール解体工事については来客者駐車場整備の必要性を認めて追加計上した。 ○本事業の一般会計繰入金:1,181,665千円 ※病院事業会計(市民病院)への一般会計からの繰入総額は、一般会計全体の削減にあわせて64,938千円減額した1,433,460千円としている。				

No.02

担当課室	市民病院管理課	事業名	市民病院資本的支出	事業区分	投資的事業
事業概要	急性期医療を提供する市民病院として、尾張西部地域に継続的に安定した医療を提供するために必要な設備、医療機器等の整備、維持管理を行う。※既存病棟改修工事は除く。 平成31年度には、電子カルテシステム等を購入し、また、一宮商業高校プール敷地を活用して来客者駐車場(44台)の整備(第1駐車場整備工事及び同フェンス設置工事)を行う。				
マニフェスト	7 市民病院を核とした医療体制をさらに充実します				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②	増減(②-①)	③	増減(③-②)
1,402,068千円		1,374,247千円	△27,821千円	1,372,730千円	△1,517千円
KPI	受益者など(見込)	患者数(入院・外来)平成31年度見込:516,900人		対象1人あたり	2,655円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。なお、電子カルテシステムにかかるリース資産購入(債務負担行為)については契約金額が確定したため一部減額し、第1駐車場整備工事及び同フェンス設置工事については来客者駐車場整備の必要性を認めて追加計上した。 ○本事業の一般会計繰入金:251,795千円				

No.03

担当課室	市民病院管理課	事業名	既存病棟改修事業	事業区分	投資的事業
事業概要	新病棟に感染症病棟などの機能を移転したため、移転後のスペースを既存施設の拡張など有効利用を目的とした改修を行う。実施設計の完了に伴い、平成30~33年度において改修工事を行う。 【関連事業:平成29年度6月補正予算No.4 既存病棟改修事業、平成30年度9月補正予算No.4 既存病棟改修事業、担当課:市民病院管理課】				
マニフェスト	7 市民病院を核とした医療体制をさらに充実します				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②	増減(②-①)	③	増減(③-②)
399,920千円		399,920千円	0千円	399,920千円	0千円
KPI	受益者など(見込)	患者数(入院・外来)平成31年度見込:516,900人		対象1人あたり	773円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。 ○本事業の一般会計繰入金:なし				

No.04

担当課室	木曾川市民病院 業務課	事業名	木曾川市民病院事業費用	事業区分	その他事業
事業概要	一宮市民病院等の後方支援病院として、継続的に安定した質の高い医療を提供する。 平成31年度には、市民病院と連携した電子カルテシステムを新たに導入する。				
マニフェスト	7 市民病院を核とした医療体制をさらに充実します				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
2,466,372 千円		2,512,650 千円		2,512,650 千円	
		増減 (②-①)		増減 (③-②)	
		+46,278 千円		0 千円	
KPI	受益者など(見込)	患者数(入院・外来)平成31年度見込:77,200人	対象1人あたり	32,547 円	
査定結果の理由等	<p>事業内容及び要求額が妥当であると判断した。なお、電子カルテシステムの導入経費(旧システムデータ移行、運用支援、諸設定等の委託料)について、要求額が確定したためその事業内容及び要求額を確認し、必要性を認めて追加計上した。</p> <p>○本事業の一般会計繰入金:226,594千円</p> <p>※病院事業会計(木曾川市民病院)への一般会計からの繰入総額は、一般会計全体の削減にあわせて2,755千円減額した261,827千円としている。</p>				

No.05

担当課室	木曾川市民病院 業務課	事業名	木曾川市民病院資本的支出	事業区分	投資的事業
事業概要	医療行為を行ううえで必要となる医療器械備品を購入し効率的で質の高い医療を提供する。また、安全で安心な環境で治療行為が行えるよう計画的に施設や設備の環境整備を行う。 平成31年度には、市民病院と連携した電子カルテシステムを購入する。				
マニフェスト	7 市民病院を核とした医療体制をさらに充実します				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
212,132 千円		147,932 千円		147,932 千円	
		増減 (②-①)		増減 (③-②)	
		△64,200 千円		0 千円	
KPI	受益者など(見込)	患者数(入院・外来)平成31年度見込:77,200人	対象1人あたり	1,916 円	
査定結果の理由等	<p>事業内容及び要求額が妥当であると判断した。なお、電子カルテシステムは市民病院と連携したシステムであり単独で購入することはできないため、その購入方法を市民病院に倣い資産購入費からリース資産購入費に改めて一部減額した。</p> <p>○本事業の一般会計繰入金:35,233千円</p>				